

## 2 平成19年度からの繰越状況

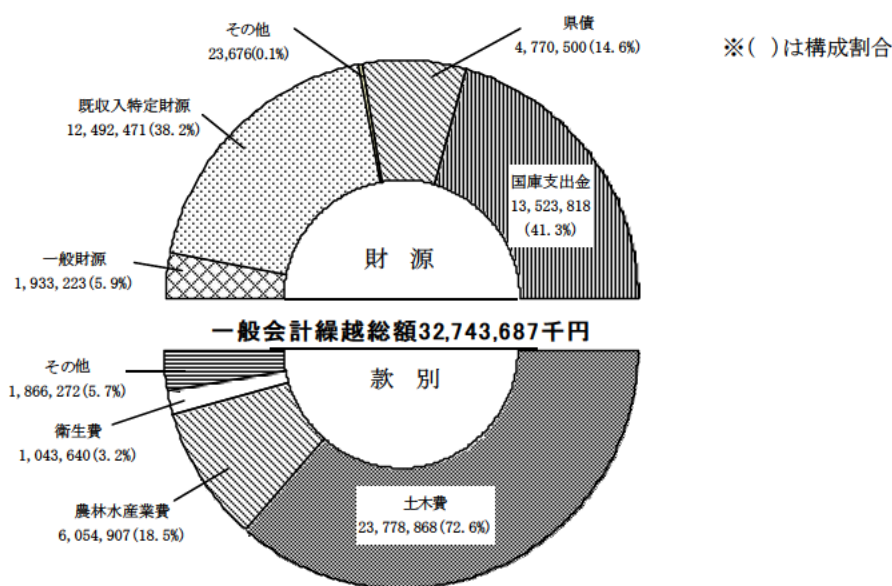
予算の繰越しとは、経費の性質上または予算成立後の諸般の事情により年度内に事業が完了しなかったため、予算を翌年度に繰越して使用することです。

予算の繰越しには、主なものとして、1つは予算の経費の性質上、又は予算成立後の事由により当該年度内に支出を終わらない見込みがあるものについて、翌年度に限り繰越して使用することができる繰越明許と、もう1つは年度内に支出負担行為をし、避けがたい事故のために年度内に支出を終わらなかったものを翌年度に繰越して使用する事故繰越があります。

平成19年度からのこれらに該当する経費は、表22、図37のとおり、一般会計で繰越明許が約327億円、事故繰越が約1億円、また、特別会計で繰越明許が約41億円、事故繰越が約20億円あり、これらの総額は約389億円となっています。

図37 平成19年度一般会計予算繰越の構成

(単位：千円)



(四捨五入のため合計に合わない場合があります。)

表22 平成19年度からの予算の繰越状況 (一般会計・特別会計)

(単位：千円)

区分	繰越額	左の財源内訳		
		既収入特定財源	未収入特定財源	一般財源
繰越明許合計	36,768,150	13,256,583	21,578,345	1,933,223
一般会計合計	32,668,037	12,454,646	18,280,169	1,933,223
総務費	301,222	33,810	150,992	116,420
民生費	897,248	846,858	23,578	26,812
衛生費	1,043,640	-	1,034,056	9,584
農林水産業費	6,054,907	2,426,908	3,166,038	461,961
商工費	17,271	-	-	17,271
土木費	23,703,218	9,015,970	13,444,344	1,242,905
警察費	84,312	74,000	7,603	2,709
教育費	137,455	54,000	29,984	53,471
災害復旧費	428,764	3,100	423,574	2,090
特別会計合計	4,100,113	801,937	3,298,176	-
港湾整備事業	11,200	-	11,200	-
流域下水道事業	4,088,913	801,937	3,286,976	-
事故繰越合計	2,123,426	379,317	1,744,109	-
一般会計合計	75,650	37,825	37,825	-
土木費	75,650	37,825	37,825	-
特別会計合計	2,047,776	341,492	1,706,284	-
流域下水道事業	2,047,776	341,492	1,706,284	-
合計	38,891,576	13,635,900	23,322,454	1,933,223

(四捨五入のため合計に合わない場合があります。)